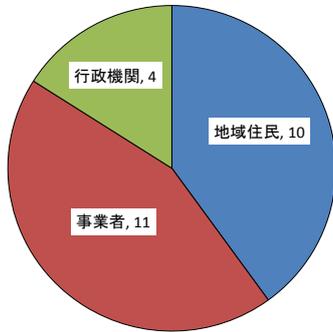


平成26年度事業者主導型リスクコミュニケーション事業(交流会(リスクコミュニケーション)) 【NECTーキン株式会社白石事業所】

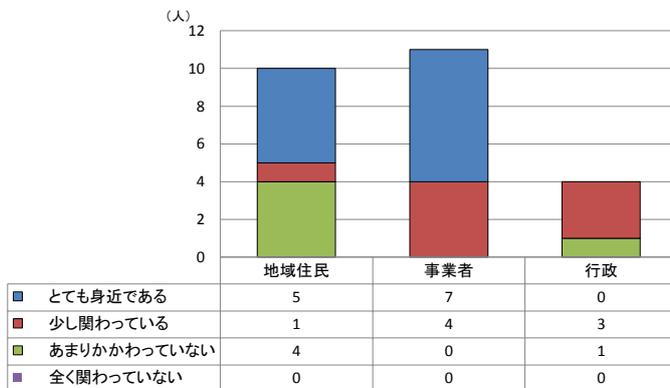
実施日 : 平成27年3月5日(木)
 実施期間 : NECTーキン株式会社白石事業所
 回答数 : 25回答/26配付 (回収率96%)
 ※集計結果について、未記載項目は集計に含まれておりません。
 土地改良区からの回答は地域住民に含まれております。

1 どちらの立場で参加されましたか。

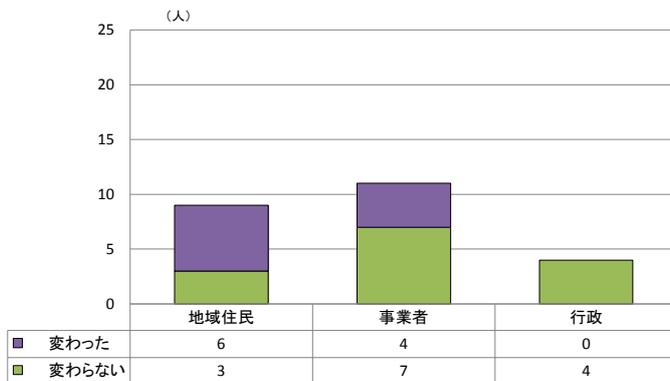


2 本日のリスクコミュニケーションに参加・傍聴して

(1)化学物質とあなたの生活との関わりについて、どのように感じられましたか？



(2)化学物質のイメージは変わりましたか？



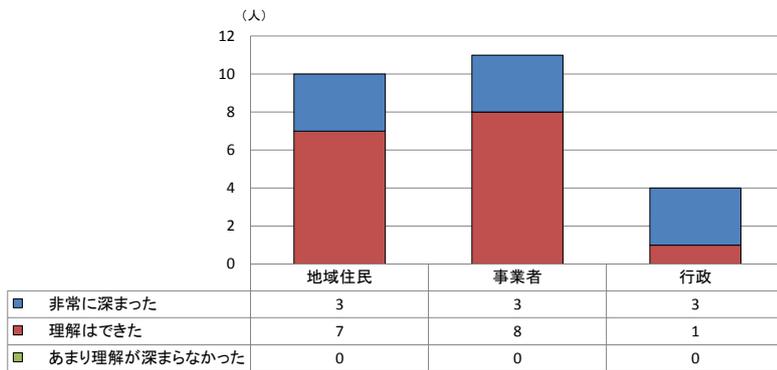
《どんなイメージ？》

- ・取扱が正しければ有効なもの、間違えれば大変危険なもの
- ・取扱いをしっかりと行えば問題ないと思っていた。
- ・取扱い方法(危険性)を間違わなければ問題ないもの。
- ・内部規定を設け、より精度の高い安全性を訴求している
- ・化学物質を出来るだけ排出しないための対策が大切ということ
- ・リスク管理しなければならない
- ・大変身近に感じた。
- ・生活と切り離せないもの
- ・身近にたくさんあり、上手につきあっていくこと。
- ・大変有意義な話で良かった。
- ・安全性が理解できた。
- ・いくらかは理解できた
- ・なぜその効果が得られるか。合金？

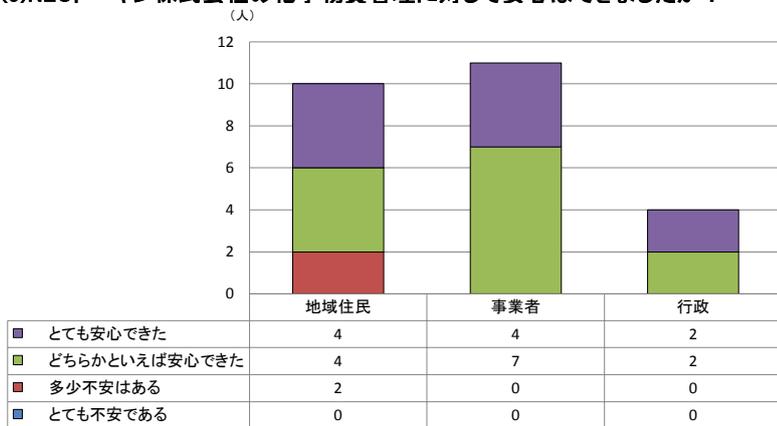
(3)NECTーキン株式会社に対する印象は以前とどのように変わりましたか？



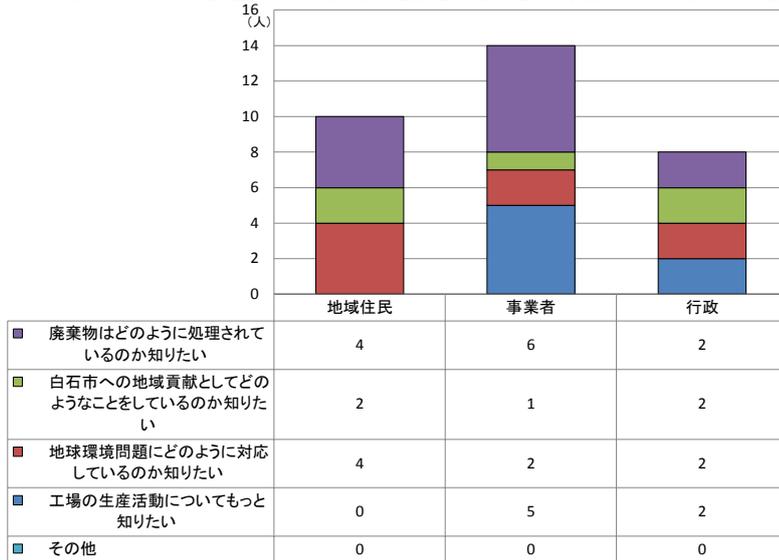
(4)NECTーキン株式会社の化学物質管理に対して理解は深まりましたか？



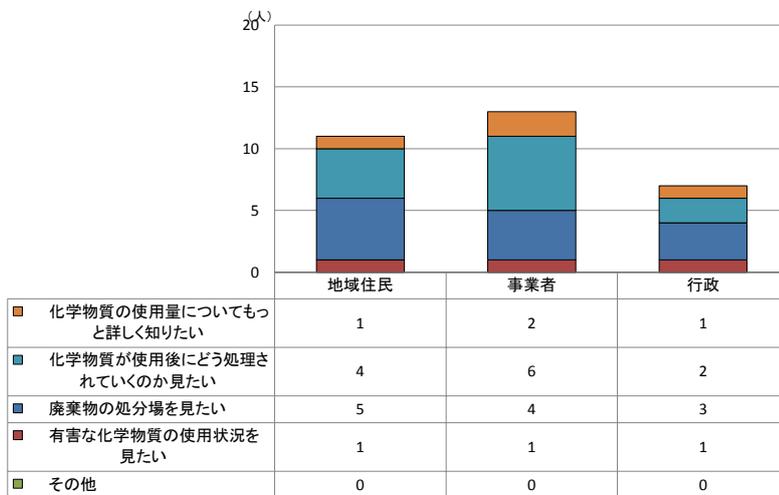
(5)NECTーキン株式会社の化学物質管理に対して安心はできましたか？



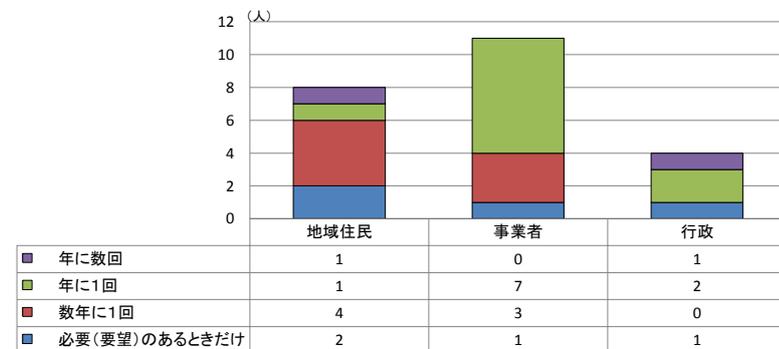
(6)NECTーキン株式会社について、もっと詳しく知りたい情報がありますか？(複数回答)



(7)NECTーキン株式会社の化学物質管理の取組みに対し、もっと詳しく知りたい情報がありますか？(複数回答)



3 リスクコミュニケーションはどれくらいの頻度で開催するのが適当だと思いますか？

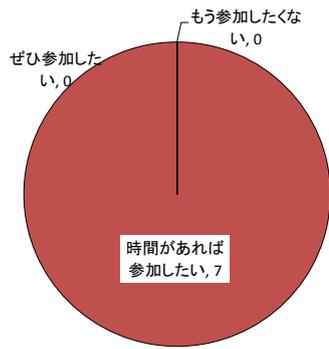


4 ご意見やご感想を記入してください。

- ・地域の交流会は弊社のイメージアップに寄与するものであり、又、社会貢献の一助にもなり、信頼関係も強まると思慮します。多忙な中、親切な対応に感謝いたします。
- ・工場で作られる製品を理解できた(会社の概要)。企業として地元への貢献。
- ・化学物質に対する取組みの理解が深まりました。
- ・定期的に開催して欲しい(自治会長の交代等がある)
- ・地域との良好なコミュニケーションを図るためには、年1回は必要と考えます。
- ・周辺道路水路の清掃活動等検討下さい。
- ・行政としてもっと内容を確認することを再考させられました。ありがとうございました。

<地域住民の方のみ>

5 次回、リスクコミュニケーションを開催する場合に参加したいと思いますか？
また、開催に当たっての要望はありますか？



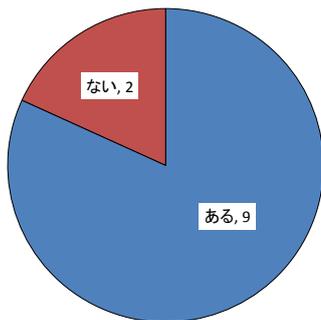
《要望》

- ・事前協議をもって、企業に偏らないテーマでの交流会を望む
- ・地域交流も考えて欲しい。

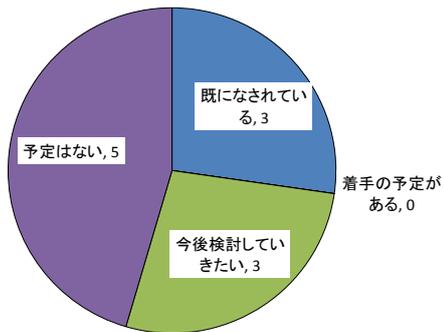
<事業者の方のみ>

6 以下の質問に対し当てはまるものに○印を付けてください。

(1) 貴事業所では、化学物質の管理の改善を促進するための組織体制はありますか？



(2) 貴事業所では、リスクコミュニケーションに関する社内検討等はなされていますか？



(3) 貴事業所でリスクコミュニケーションを開催する意向または予定がありますか？

